

北部病院だより 第136号(2019.10)

Showa University Northern Yokohama Hospital

【巻頭言】心をくすぐられた Quote (引用)

【医学講座コーナー】胃がん

【TOPICS】秋期公開講座のお知らせ

【TOPICS】都筑区防災フェアに出展しました

【TOPICS】ロビーコンサートのお知らせ

【TOPICS】がん相談支援センターについて

【医師の配属・異動・退職】

【患者さんからのご意見・ご要望】

【診療統計】

【TOPICS】がんサロンのお知らせ

【編集後記】



オカピからのお知らせ

昭和大学 共通診察券化 ご協力をお願い

2020年1月1日、昭和大学横浜市北部病院は、電子カルテをリニューアルします。
その際、今後のより良い医療を提供するために、昭和大学藤が丘病院、リハビリテーション病院、北部病院の患者診察券番号が統一され、診察券が1枚になります。
藤が丘病院・リハビリテーション病院と北部病院を受診したことがある方は、診察券番号の照合を行っております。
お手数ですが、窓口までお立ち寄りください。

窓口：各科受付

中央棟 1 F 再来受付機 横



昭和大学
横浜市北部病院

巻頭言 心をくすぐられた Quote (引用)

ある日 Facebook を斜め読みしていると、知り合いのインドネシアの女医さんが次のような文章を載せていました。“The one who works with his hand is a craftsman. The one who works with his mind is a scientist. The one who works with his heart is an artist. But the one who works with his hand, mind and heart is a Doctor.” おそらくどこからかの quote (引用) だと思いますが、ちょっと気に入ったので手帳に書き留めました。いらぬお節介は承知で訳してみると、「技術で仕事するのは職人。知力で仕事するのは科学者。心で仕事するのは芸術家。しかし技術と知力と心で仕事するのは医者である。」とでもなりま

すか。この文章、解釈の仕方によっては「医者はオールマイティーで一番優秀！」みたいに聞こえ、ずいぶん驕った考え方だと取られるかも知れません。しかし見方を変えれば、「医者は技術や知識だけでなく、心も伴った仕事をすべきだ」という戒めや励ましにもとれるでしょう。

昭和大学横浜市北部病院では、本年 4 月より女性骨盤底センターが新たに開設され、小生はセンター長として赴任しました。センターといってもドクターは僅か 4 名しかおりません。しかし全員が、“女性のおしもの不具合”を治すことに大きな気概を感じて仕事をしております。日常の診療でしばしば気づくのは、様々なおしもの不具合があるにもかかわらず長い間受診をためらい、独り悩み続けてしまう女性が多いことです。膣から何かが飛び出したり、思いがけない尿漏れを経験した時、いったい自分に何が起こったのだろうと大きな恐怖と不安に襲われるはずです。しかし、羞恥心などからなかなか受診できないのでしょうか。一通りの診察が終わり病態の説明をすると、眼を潤ませる女性が多くいらっしゃいます。ご自分に起こっている、長い間悩み続けたとんでもない異常を理解してくれる医療者がいるという安堵感からかもしれません。ここから我々の腕の見せ所です。その女性のライフスタイルにあった治療を提案し、何にも優先して生活の質 (QOL) を改善させるよう診療を進めます。確かな知識と技術、そして心のこもった仕事が必要となります。

4 月の開設以来、女性骨盤底センターに関係する病院の皆様には本当に様々な面でお世話になりました。この場をお借りして、心より感謝申し上げます。まだ女性骨盤底センターは歩き始めたばかりです。どうぞこれからも引き続きご支援とご協力をいただけますよう、よろしくお願い致します。実は先ほどの英文はセンター開設時にスタッフの前で、「これが女性骨盤底センターのモットーだ！」と気取って紹介しようと思って手帳に忍ばせていたのです。しかし恥ずかしくて言い出せず、半年も過ぎてしまいました。そんな折病院だよりの巻頭言を書くよう依頼され、はたと思い出し思い切って書いてしまいました。女性骨盤底センターのスタッフ諸君、“The one who works with his hand, mind and heart is a Doctor.” が我々のモットーだよ！

女性骨盤底センター 嘉村 康邦



女性骨盤底センター

嘉村 康邦 教授 (右から 2 番目)



医学講座コーナー 胃がん

胃癌罹患数は減少傾向にありますが、まだまだ、治療症例数が多いのが現実です。

国民衛生の動向2019からの資料によりますと、2016年（平成28年）の悪性新生物による死亡数は372,986人（男性219,785人、女性153,201人）です。部位別年齢調整死亡率（人口10万対）では、男性の第1位は肺癌、次いで胃癌、大腸癌でした。女性では乳癌が第1位、大腸癌が第2位で、肺癌が第3位です。いまだに男性の悪性腫瘍死亡原因の第2位となっております。

また、欧米に比べて日本は胃癌罹患率が高い国であります。胃癌のリスクファクターですが、喫煙、多量の飲酒、多量の塩分摂取、ヘリコバクターピロリ菌感染が挙げられます。

このリスク因子を減らすように、当消化器センター外来では指導しております。この中で治療となると、ピロリ菌除菌ですが、当院でも積極的に行っております。

また、胃癌検診ですが、先ずは上部消化管内視鏡検査を施行します。当消化器センターでは GIF-H290Z (high vision + Zoom) の内視鏡を使用しており、NBI (narrow band imaging) という光の波長の範囲を狭くして照射される面の細かな変化を強調させる技術（画像強調観察技術）で、早期胃癌でも見逃す確率が低いです。早期胃癌の場合、内視鏡治療適応であれば内視鏡治療となります。

内視鏡治療では林武雅講師を中心に毎週水曜日に行っており、2017年、2018年は内視鏡化治療 (ESD) (内視鏡的粘膜下層剥離術) をそれぞれ 127 例、105 例施行しており、重篤な合併症は認めておりません。一方、早期胃癌でも内視鏡治療適応外や進行胃癌の場合はリンパ節郭清が必要とされ、外科的手術となります。当消化器センターでは私と島田翔士助教とが中心で診療にあたっております。手術ですが、多くは腹腔鏡下手術を施行しております。

他臓器浸潤 (横行結腸や脾など) が疑われる場合腹腔鏡下手術適応外としております。2017年、2018年では胃癌手術をそれぞれ 107 例、95 例施行しており、再手術を要するような縫合不全症例数は、2017年は0例、2018年は1例であり全国平均 (3-5%) よりは、低率でありました。内視鏡的切除後、および外科的切除術後の胃の follow ですが、最低年1回の内視鏡検査を施行しております。

また、外科的切除術後は4-6ヶ月毎のCT、血液検査を施行しております。外科的切除後で、stage II 以上の症例は基本的に TS-1 という抗がん剤を1年間内服していただいております。また、根治的切除の得られなかった症例は当消化器センターの若村邦彦講師を中心に化学療法を施行しております。

このように、当消化器センターでは工藤進英消化器センター長の元、内科・外科が一体となった診療体制を敷いており、患者様の要求に十二分に応えられるよう、日々、努力いたしております。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。



消化器センター
澤田 成彦 准教授



TOPICS 秋期公開講座のお知らせ

**2019年度
秋期市民公開講座
暮らしと健康【がん】**

〈会〉：緩和医療科 横山 和彦 准教授

第1部 13:30～
～がんのリハビリテーション～
〈演者〉横浜市北部病院
リハビリテーション室 青木 いつみ 技師長

第2部 14:30～
～がん医療における心のケア～
〈演者〉横浜市北部病院
メンタルケアセンター 富岡 大 講師

会場 当院 西棟4階講堂

日時 2019年10月12日(土)
受付開始 13:00～
第1部 13:30～
第2部 14:30～
聴覚障害の方もお気軽にご参加頂けるように、
手話通訳/音声通訳・要約筆記・組グループをご用意しております。

主催 昭和大学横浜市北部病院(管理課)
TEL045-949-7000 FAX045-949-7117
E-mail:nhkoukai@ofc.showa-u.ac.jp

後援 社団法人横浜市病院協会

昭和大学
横浜市北部病院




参加費 無料

予約方法
院内各所の受付箱
中央棟2階 エスカレーター横
1階 総合案内
地下1階 時間外受付

FAXまたはE-mail
※事前申込制

先月、お知らせいたしました【秋期市民公開講座】を10月12日(土)に開催いたします。院内各所に申込用紙と受付箱を設置しておりますので、奮ってご参加ください。メールでの申し込みも受け付けております。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

※詳しくは院内にございます申込用紙・掲示ポスター・ホームページにてご確認ください。



〈前回(春期)の公開講座の様子〉

TOPICS 都筑区防災救急フェアに出展しました

令和元年9月1日(日)に都筑区総合庁舎1階の区民ホール及び中庭にて開催されました『都筑区防災救急フェア』に当院も出展しました。当イベントは8月30日～9月5日「防災週間」と9月8日～14日の「救急医療週間」にあわせ、子供から大人まで親しみながら、防災・防火・救急医療・健康づくりに関心を持っていただく機会となることを目的としたイベントです。

当院の出展では「うちの子の発育は?～身長体重の相談にお答えします～」と題し、ブースにて測定した身長・体重をもとに当院小児科の医師から発育についてのアドバイス、及び保護者からの発育への相談にお答えしました。非常に暑い時間帯にもかかわらず71名のお子さん(1才～11才)にお立ち寄り頂き、元気な声で賑わったブースとなりました。

当院以外にも複数の団体・企業によるブースが設置され防災・救急・健康づくりに向けた様々な体験のできるイベントです。来年度の開催に足を運んでみてはいかがでしょうか。



〈当院の出展ブース〉



〈消防によるお子さん向けミニ教室〉

TOPICS ロビーコンサートのお知らせ



ロビーコンサートを開催いたします。
多くの方にお越しいただけることを
お待ちしております。

日 時： 2019 年 10 月 29 日(火) 19:00～

※院内掲示のポスターをご確認ください。

場 所：中央棟 1 階 会計前ロビー

演奏者：中島美由、中村早希

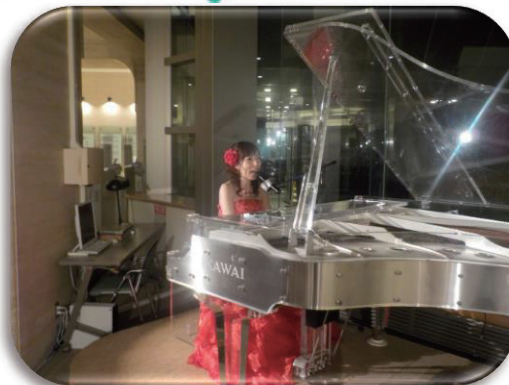
(ヴァイオリン、ピアノ)

～ご紹介～

桐朋学園大学音楽学部二年在学中。

こちらで演奏させていただくのは初めてです。

皆さまにささやかな幸せをお届けできますよう
に。クラシックとポップスを織り交せて演奏さ
せていただきます。二人の織りなすハーモニー
をお楽しみください。



〈8月のロビーコンサート：YOSHIE さん〉

TOPICS がん相談支援センターについて

がん専門相談員（看護師等）が、患者さんやご家族からのがんに関連した質問や相談をお受けし、
情報提供や問題の解決に向けて、一緒に考えていきます。

※個人の秘密は守り、相談されたことにより不利益が生じないように配慮します。

※相談は無料です。

※当院以外の方の相談もお受けしています。

受付時間

月～土曜日（祝日除く）

8:30～17:00

対応時間

月～金曜日（祝日除く）

8:30～17:00

場所

中央棟 1 階 総合相談センター



医師の配属・異動・退職

＜新規配属医師＞

【他施設より】

- ・宮地 英行 (消化器センター) より
- ・鴻池 紗耶 (緩和医療科) より

【附属施設より】

- ・平井 隆仁 (消化器センター)
- ・河村 光晴 (循環器内科)
- ・山本 明和 (循環器内科)
- ・西岡 貴弘 (こどもセンター)
- ・長谷部 義幸 (こどもセンター)
- ・金澤 建 (こどもセンター)
- ・木村 太郎 (こどもセンター)
- ・畠野 優衣 (メンタルケアセンター)
- ・大橋 英朗 (内科)
- ・渡邊 孝太 (放射線科)
- ・山家 弘雄 (脳神経外科)
- ・明楽 一隆 (産婦人科)
- ・李 相亮 (整形外科)
- ・日比 裕之 (耳鼻咽喉科)
- ・丸山 祐樹 (耳鼻咽喉科)
- ・薄井 隆宏 (眼科)
- ・塚越 美奈 (眼科)

2019年10月1日付

2019年10月1日付

- 昭和大学病院 消化器外科より
- 昭和大学病院 循環器内科より
- 昭和大学病院 循環器内科より
- 藤が丘病院 小児科より
- 昭和大学病院 小児科より
- 藤が丘病院 小児科より
- 昭和大学病院 小児科より
- 江東豊洲病院 精神科より
- 東病院 脳神経内科より
- 藤が丘病院 放射線科より
- 藤が丘病院 脳神経外科より
- 昭和大学病院 産婦人科より
- 昭和大学病院 整形外科より
- 藤が丘病院 耳鼻咽喉科より
- 昭和大学病院 耳鼻咽喉科より
- 江東豊洲病院 眼科より
- 東病院 眼科より

＜異動・退職医師＞

【附属施設へ】

- ・箱崎 智樹 (消化器センター)
- ・柴田 栞里 (消化器センター)
- ・磯村 直栄 (循環器内科)
- ・角田 史敬 (循環器内科)
- ・宮沢 篤生 (こどもセンター)
- ・前田 麻由 (こどもセンター)
- ・大川 恵 (こどもセンター)
- ・久保田 怜美 (内科)
- ・新屋 光一朗 (皮膚科)
- ・小竹 晃生 (放射線科)
- ・橋詰 典弘 (放射線科)
- ・茨城 麻綾 (産婦人科)
- ・永田 衣利奈 (耳鼻咽喉科)
- ・小菅 正太郎 (眼科)

2019年10月1日付

- 昭和大学病院 消化器外科へ
- 藤が丘病院 消化器外科へ
- 藤が丘病院 循環器内科へ
- 昭和大学病院 循環器内科へ
- 昭和大学病院 小児科へ
- 昭和大学病院 小児科へ
- 昭和大学病院 小児科へ
- 東病院 脳神経内科へ
- 昭和大学病院 皮膚科へ
- 藤が丘病院 放射線科へ
- 藤が丘病院 放射線科へ
- 昭和大学病院 産婦人科へ
- 昭和大学病院 耳鼻咽喉科へ
- 江東豊洲病院 眼科へ

【学外研修へ】2019年10月1日付

- ・高宮 新之介 (呼吸器センター)
- ・佐藤 雄太 (消化器センター)
- ・瀧島 和美 (消化器センター)
- ・岡田 祥一 (心臓血管外科)
- ・井川 涉 (循環器内科)
- ・石井 瑤子 (こどもセンター)
- ・中尾 紗由美 (産婦人科)
- ・岡田 洋介 (眼科)

【学外研修より】2019年10月1日付

- ・小川 正隆 (消化器センター)
- ・倉田 知幸 (消化器センター)
- ・持田 賢太郎 (消化器センター)
- ・福永 奈津 (こどもセンター)
- ・高瀬 眞理子 (こどもセンター)
- ・吉田 輝龍 (内科)

【退職】2019年9月30日付

- ・森田 孝次 (こどもセンター)



患者さんからのご意見・ご要望

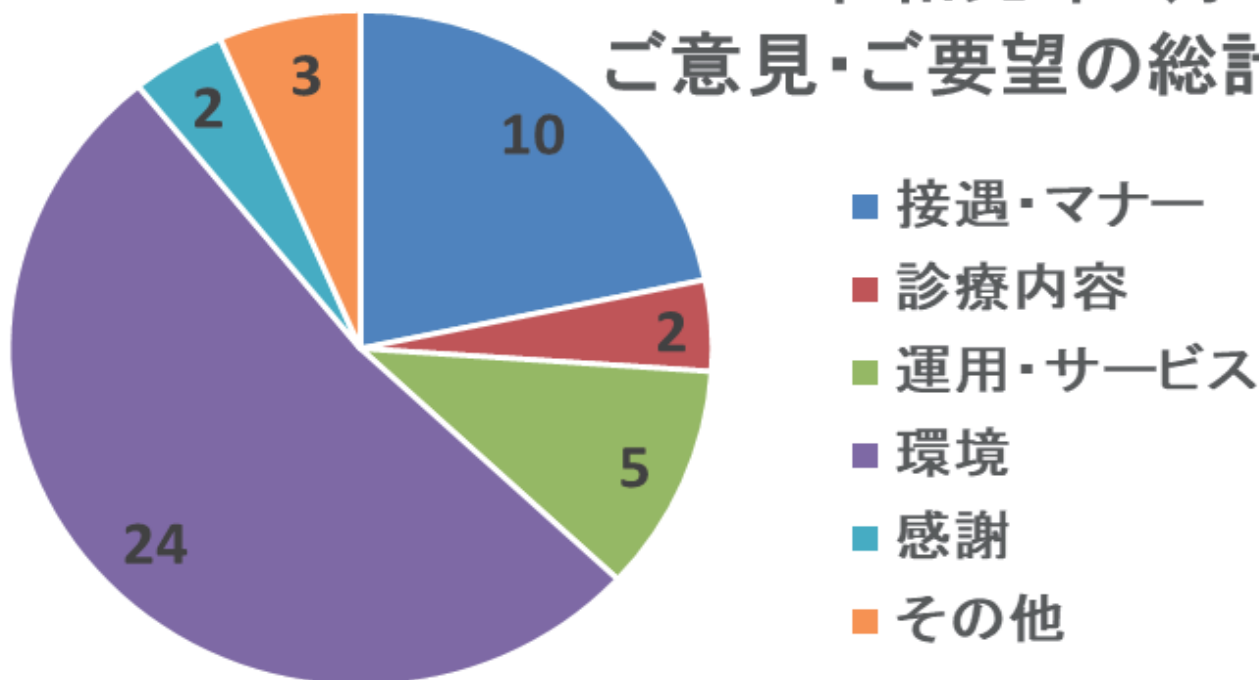
日々患者さんよりいただきましたご意見・ご要望に関しましては、病院長及び関連する部署の責任者に報告し、改善に努めております。

今までのご意見の中で多くいただいたものや最近のご意見・ご要望を中心に改善策を掲載させていただきました。掲載されていない内容についても対応しておりますのでご了承ください。

今後もお気付きの点やご要望をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

ご意見・ご要望	回答・改善等
給湯器の撤去後、「再設置検討中」の張り紙が出ていましたが、まだでしょうか。	お待たせして申し訳ありません。 8月22日(木)に給湯器(お湯・水)を設置いたしましたので、ぜひご利用ください。
受診でお世話になっております。 車いすでの介助をしながら、1階のゆったりトイレを使わせていただいておりますが、付き添いの荷物を置くひっかけがあると助かります。	大変ご不便をお掛けして、誠に申し訳ございませんでした。 早急に院内トイレの現場調査を実施して、荷物の引掛けフックが外れている場所については新たな取り付けを、緩み等が生じている場合に於いては増し締め等を実施して参ります。 貴重なご意見をお聞かせ頂き有難うございました。

令和元年8月 ご意見・ご要望の総計46件



診療統計

前年同月比 ()内は 1 日平均

診療実日数 2018 年 8 月 (入院: 31 日・外来: 26 日)、2019 年 8 月 (入院: 31 日・外来: 26 日)

	入院患者数	外来患者数	救急搬送数	手術件数
2018 年 8 月	19,696 人 (635.4 人)	27,994 人 (1,076.7 人)	611 件 (20.4 件)	811 件 (35.3 件)
2019 年 8 月	19,039 人 (614.2 人)	26,467 人 (1,018 人)	634 件 (21.1 件)	815 件 (38.8 件)

TOPICS がんサロンのお知らせ

日 時 : 2019 年 10 月 17 日 (木) 14:00~16:00

場 所 : 当院 中央棟 9 階 大会議室

テーマ : 抗がん剤治療中の生活について

担当者 : がん化学療法看護認定看護師



皆さまのご参加をお待ちしております。

編集後記

秋も深まり過ごしやすい季節になってきました。10 月 14 日には「体育の日」を控えていますが、2020 年からは東京オリンピックの開会式に合わせて「スポーツの日」へ名称が変更されます(2020 年のみ開会式が行われる 7 月 24 日、2021 年からは 10 月第 2 月曜日)。

スポーツといえば、先月より横浜総合競技場をメイン会場にラグビーワールドカップが日本で開催されています。ラグビー発祥国のイギリスから日本にラグビーが伝わったのは横浜が最初と言われています。現在、日本代表は世界ランキング 9 位(8 月時点)に位置しており、メダル獲得の可能性は大いにあると思います。日本ラグビー発祥の地である横浜で世界最高峰のプレーを、そして日本代表の勇姿を見届けてみてはいかがでしょうか。

〈リハビリテーション室 作業療法士 佐野太基〉



北部病院だより 第 136 号

2019 年 10 月 1 日発行

発行責任者 門倉 光隆 (昭和大学横浜市北部病院長)

編集責任者 緒方 浩顕 (広報委員会 委員長)

発行 地域中核病院 昭和大学横浜市北部病院

〒224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1

電話 045-949-7000(代表)

URL: <http://www.showau.ac.jp/SUHY/index.html>

北部病院ホームページにて最新・過去の『病院だより』
がご覧いただけます。